

SAFETY TECHNOLOGY

KomVision

人検知衝突軽減システム標準搭載 機械と人との衝突事故を軽減 NEW

従来のKomVisionの機能を向上させ、機械周囲の人をシステムにより確認し、走行または旋回起動時に人を検知した場合、機械の発進を制御します。また、低速走行中に人を検知した場合、機械を停止させます。

これらの機能により、走行起動時、走行時、旋回起動時に、機械と人との衝突事故発生抑制に寄与します。



周囲監視モニター

4台のカメラを用いて機械周囲をモニター上に表示します。

人検知衝突軽減システムの稼動状態も表示されます。

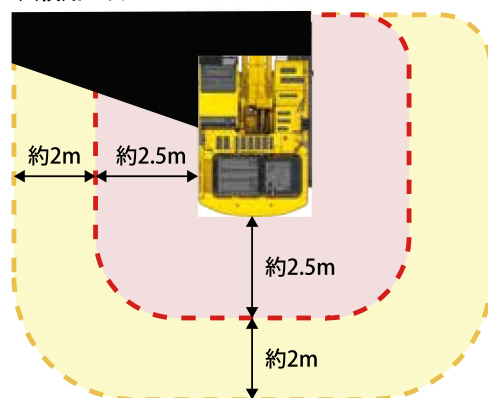
モニターの右側画面は、F4キーで機体の右側方、右前方、左側方、後方の画像に切り換えることができます。



人検知エリアとブザー

検知エリアまたは、停止制御エリアで人を検知するとモニター上にマーカ(黄色い丸または赤い丸)を表示し、ブザーを鳴らすことによってオペレータに注意を促します。

人検知エリア



検知エリア

ブザーを鳴動させ、オペレータに注意を促します。

停止制御エリア

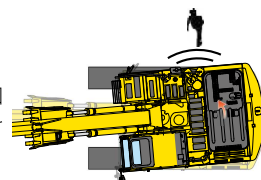
ブザーで注意を促すとともに、機体を停止制御します。

機体停止制御

停止状態から走行するとき、また走行中(低速のみ)でも、停止制御エリアで人を検知すると走行を停止します。



停止状態から旋回するとき、停止制御エリアで人を検知すると旋回の発進を停止させます。



- 本システムは、あらゆる条件で衝突を軽減する装置ではありません。性能には限界があります。システムに頼った使い方や間違った使い方を行った場合には、事故が発生する可能性があります。
- 本システムをお使いになる前には、必ず取扱説明書をお読み頂き、システムについて理解し、正しくお使い下さい。
- 本システムは、わき見操作や漫然な操作など、オペレータの不注意を防止するための装置ではありません。
- 高速または中速走行、旋回中や作業機の稼働に関しては、停止制御を行っていません。
- 前方や作業機可動域、カメラで検知できる範囲外に対象物がある場合、機能は作動しません。
- 検知する対象物の状況(走ってくる、しゃがんでいる、周囲の色と明暗が少ない服装等)、カメラの状況(レンズ面の付着物、くもり等)、作業環境(悪天候、薄暗い、逆光、または夜間、水蒸気や煙が漂う等)によって、人を正しく検知できない可能性があります。
- 下記の条件の際、本システムにより機体が急停止して不安定になる可能性があるため、周囲の安全を確保して運転操作下さい。
(つり荷走行、急斜面での作業、滑りやすい路面や地盤の柔らかい現場での作業)
また、トラレーザへの積み込み、積み下ろしの際に、本システムにより機体が急停止し不安定になるため、人検知衝突軽減システムをOFFにして下さい。